JU北海道 健全な中古車流通と業界発展に向けて

JU中販連 塚田 長志 会長

支部間の連携で一層の発展を

日頃よりJU中販連の各種事業の運営に対しまして、格別のご支援、ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

支払総額表示も定着してきたものと感じておりますが、引き続き自動車公正取引協議会と連携しながら消費者の皆様へのPRに努め、より一層お客さまに信頼される業界、JUショップを築いてまいりたいと存じます。

JU北海道におかれましては、今年で創立60周年を迎えられました。日頃から組織力の強化、業界の活性化、青年部会員の増強や会員拡大に積極的に取り組まれております。加えて、中古自動車販売士やJU適正販売店認定制度を積極的に推進し、消費者の皆さまからの信頼向上に大きく寄与されております。また、7月に7支部合同で行われた「やっぱりJUジャナイト!夏だ!オールJU北海道中古車祭り」は、盛況のうちに開催されたと伺っております。

今後も支部間のさらなる連携により、JU北海道がより一層発展を遂げられますことを心から祈念申し上げます。

システム刷新し業務効率向上

JU北海道は健全な中古車流通と業界の発展に向け、さまざまな施策を展開する。小売りでは7月に全商組が参加して「オールJU北海道中古車まつり」を開催し、7会場で約1200台をそろえて販売促進を図った。タマ不足が継続する中でも成約率は前年を上回るエリアがあり、堅調な中古車需要を示す結果となった。また、販売促進策として新たな保証制度を導入したほか、オークション運営のためのシステムを刷新。業務効率の改善で会員の利便性引き上げにもつなげていく。

7月には「JU北海道認定保証制度」をスタートさせた。JU会員店で安心して車両購入してもらうための施策で「ベーシック」から「EX」まで3つのプランを用意し、それぞれに異なる保証期間を設定。最上位プランのEXは、加入時の年式が8年以内かつ走行距離8万キロメートル以内の車両を対象に424項目の保証を提供する。ディーゼル車やハイブリッド（HV）、プラグインHVも加入対象となり、シンプルかつ手ごろな料金設定で顧客への提案のしやすさにつなげている。

会場の業務システムを統括するJU札幌は、JUコーポレーション（JUC、伊藤行雄社長、東京都新宿区）の協力のもと、8月にシステムを刷新した。新システムの導入は全国に先駆けての実施となり、JUCは新システムを普及させながら機能の改善にも取り組んでいく。

JU札幌は約15年ぶりのシステム入れ換えとなった。北海道は札幌で7支部の業務システムを管理しており、サテライト会場を有するほかのエリアのモデルケースとしても期待が寄せられている。JU札幌からは、書類や入金の流れの効率化を重点に設計を要望し、事務局関係者は「計画通りに運用できれば、最大2割ほど業務を効率化できるのではないか」と想定する。また、これまでのパソコンなどにアプリをダウンロードして使用する形式からシステムをクラウドに用意する形式とした。これにより、機能へアクセス性が高まるほか、新たに機能を追加した際に先行して導入する商組にも迅速に新機能を提供できるなどのメリットが生まれる。

刷新に合わせて会員向けの機能も強化した。下見業務のHPをリニューアルするとともに、名義変更や計算書の確認機能を追加した。出品票のQRコードからHPに掲載する情報にアクセスできるようになり、本格的なペーパーレス化への準備が整った。そのほか、JUナビは出品、価格調整機能も追加される予定で、スマートフォンなどの端末でオークションに関する業務がより幅広く行えるようになる。

10月2日からは、道内7会場をバトンでつなぐ「オールJU全国リレーAA」が始まる。札幌を皮切りに函館、釧路、室蘭、帯広、北見、旭川の順に開催し、一層の中古車市場活性化につなげていく。

道内7会場 リレーAA開催スケジュール

開催日	会　場	目標出品台数
10月2日	JU札幌	1,000台
10月9日	JU函館	250台
10月23日	JU釧路/JU室蘭	210台/150台
10月30日	JU帯広	210台
11月6日	JU北見	130台
11月13日	JU旭川	150台

JU札幌

JU札幌は7月に事業協同組合の設立50周年を迎え、記念オークションは目標を上回る約1700台が出品された。節目に近藤昇理事長は「相互扶助の精神を大切に、新たな課題に対応していく」と将来を見据えた。

小売支援では春先に「中古車ダイナミックフェア」を行い23社が約230台を揃えた。年度末の需要期という点も後押しし、出店した全社が成約を獲得して成約率は5割近くまで上昇。

JU北海道が7月に開催した中古車販売イベントでは、家族連れの来場に焦点を当てた施策を展開して好評を博した。

誘客策として地域の映画館においてコマーシャル放映を行い、会員企業の認知度引き上げを図ったほか、スポーツチームとの連携で地域貢献とJUブランドの認知向上を図る試みも検討している。

8月にはJUコーポレーションの協力で業務システムの入れ換えを実施し、機能性を改善した。今後はほかの商組への導入も予定されており、アップデートでいっそうの業務効率改善にも期待される。

JU帯広

JU帯広のAAの特徴は、農耕が盛んな土地柄を反映したバン・トラックの多さだ。この特徴は道内だけでなく全国にも浸透しており、安定した成長につながっている。

帯広地区は基幹産業の農業が安定しているだけに、上嶋康秀会長・理事長は「バン・トラをメインに出品台数を確保していきたい」と力を込める。

小売りに関しては現車フェアの開催を強化している。7月4、5日に実施した全道合同の夏の中古車フェアには500人以上が足を運んだ。AA会場に140台を展示し、31台を成約するなど好評を博した。

10月17、18日にも「JU帯広自動車オータムフェア」と題し、AA会場でイベントを開催した。今回はAA会場と会員企業の店舗とのハイブリッド形式を採用し、展示規模は200台となった。

クレジット事業では、今年のサマーキャンペーンで30連覇を達成した。10、11月のオータムキャンペーンでも好実績を目指す。

JU釧路

JU釧路の2026年度実績は8月まで、前年とほぼ同水準で推移する。会場は輸出向けに車両を買い求める会員も多く、円安傾向が続いたことで海外向けに需要のあるモデルの引き合いが強まっているという。

販売支援策として、JU中販連のクレジットキャンペーンに合わせて年3回の販売イベントを実施する。毎回20社以上が参加し、7月は地域のイベントと併催してより多くの誘客を図り、2日間で113台の成約を獲得した。直近では、開催告知のノボリを会員の店舗に掲出してもらい、イベントの盛り上げにつなげている。

また、中古自動車販売士研修試験をはじめとした認定に必要な各種研修を毎年行って、顧客満足や法令順守につなげる。これらの重要性を丁寧に呼びかけた結果、適正販売店の認証は会員の3割まで到達しており、さらなる件数の積み重ねを目指していく。

中古車フェアは次回、10月に開催を予定する。賛助会員の自動車ディーラーも参加して300台を出展する計画だ。

JU函館

JU函館は、AAだけでなく、業務系や登録関係、封印などの事業を会員に活用してもらう取り組みを以前から進めてきた。髙橋広美会長・理事長は「皆さんが使いやすい組織づくりに力を入れる」方針だ。

7月にAA会場で開催した中古車フェアは来場者数、成約台数ともに多く、盛況だった。ただ、会員企業の多くは函館市内に店舗を構えるが、AA会場までの距離には差がある。髙橋会長・理事長は「今後もAA会場でのフェアを継続するのであれば、車両の陸送費の補助など改善策が必要」と考える。

一方、自社の店舗に車両を置いたまま、共通のチラシを配布して来場促進を図るフェアも年2、3回実施している。髙橋会長・理事長は「会員の皆さんが参加しやすいフェアの形を検討したい」と、小売り振興を重点課題に掲げる。

今年は函館市外からの新規入会が3～4件あった。引き続き、森町や江差町などの事業者の入会促進にも力を入れる。

JU北海道 髙橋 成人 会長・理事長

地域で選ばれる企業づくり支援

平素よりJU北海道の取り組みに多大なご協力を賜っておりますこと、心から感謝申し上げます。

中古車流通事業では、円安や新車の長納期化などを要因にタマ不足、相場上昇が発生しております。道内の車両の使用年数の伸びや自動車保有台数の減少といった課題がある中で、JUブランドならではのサービスを整えることで、地域と顧客に選ばれる企業づくりを支援してまいります。

2026年7月には「JU北海道認定保証」が、8月にはJUコーポレーションさまの協力のもと新たな業務基幹システムが導入されました。

各委員会や中古車販売協会・同商組の協力のもと、「中古自動車販売士」や「適正販売店」などの普及も継続して取り組みながら、新たな施策を推し進めます。円滑なオークション開催につなげ、お客さまが安心して中古車を購入できる環境を整えてまいります。

関係各所の皆さまには、引き続きのご支援をお願いできますと幸甚の至りです。

JUコーポレーション 伊藤 行雄 社長

新システム構成を新たな基盤に

当社はJU版デジタルトランスフォーメーション（DX）を担うIT・ネット戦略会社として、会員の利便性向上と中古車業界全体の活性化に取り組んでおります。

特にJU北海道におかれましては、われわれのDX事業にいち早くご理解・ご協力をいただき、深く御礼申し上げます。

本年8月21日のオークション開催より、全国初の「JU共有業務システム」がJU北海道全支部に導入されました。今後はこの新たなシステム構成を確固たる基盤とし、アジャイル開発を用いてさらなる進化を遂げていく所存です。各会場のデータ相互活用や効率化を推進し、時代の変化に迅速かつ柔軟に対応してまいります。

われわれはDX推進を通じ、さまざまなアイデアをカタチにして業界に貢献してまいります。皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2回目の検査員コンテストを開催

JU北海道は、JU札幌の常設オートオークション（AA）会場（札幌市東区）で「第2回AA検査員技能コンテスト」を開催した。道内7支部の代表選手7人が出場し、JU札幌の権平貴志選手が優勝した。前回（2024年）優勝したJU札幌の富田凌太選手とともに、愛知県で12月に行われる全国大会に出場する。

主催者あいさつで、髙橋会長・理事長は「（コンテストにより）皆さんの検査の技術は向上する。AAはデジタル化が進み、検査の精度も必要になっており、検査の仕組みも変わってきている。皆さんにも成長していただきたく、本日は最後まで頑張ってほしい」と激励した。

競技は2班に分かれて実施した。5台の車両をそれぞれ検査する実技競技で、出品票に検査結果を記入する方式を採用した。検査の正確性を採点し、5台の合計点で順位を決定した。制限時間は全国大会と同様に9分に設定した。

採点はJU北海道検査ワーキング委員とJU中販連事務局が担当した。主に「修復歴の有無を見極め、修復箇所やその状態を正確に捉えられたか」「内外装の損傷状態を正しく捉え、JU検査基準に即した評価点を付与できたか」などをポイントとした。

JU室蘭

JU室蘭は、ディーラーや中古車事業者だけでなく、整備やレッカーなど幅広い業種の事業者が入会している。JUの多彩なサポート機能を活用し、中古車の仕入れや金融、小売りなど会員店の事業を支援することで中古車市場の健全な発展と活性化を目指す。

会員拡大を重点課題に位置付け、既存会員からの知人の紹介など入会促進に取り組む。青年部会員が少なくなっているだけに、若手会員の確保・育成にも注力する。

JU室蘭が展開している事業の活性化にも取り組む考えだ。髙﨑直也会長・理事長は「新規入会の取り組みを進めながら、既存の会員にも、もっと活動に参加してもらえるような組織にしたい」と強調する。

AA事業では引き続き、輸出向け車両が活発に取引される会場づくりを進める。仕入れだけではなく、小売りに向かない車両を会員店がしっかりと高値で換金できるAAの場を用意する方針だ。

JU旭川

JU旭川は協同組合が設立50周年の節目を迎え、さらなる中古車流通の活性化に取り組んでいく。地域の特徴として、自動車関連団体の情報交換や連携が盛んなことから、横のつながりを生かして充実したオークションにつなげている。ディーラーコーナーを常設するほか、自動車販売協会連合会旭川支部と連携したAAも開催。また、バン・トラックの需要が高い点を訴求して良質な車両の集荷を図っている。

2026年4月から8月までの出品は前年を下回る台数となっているものの、成約率は6割を超えて推移する。活況を呈する秋商戦に向け10月9日に「青年部担当AA」、11月6日は「全国リレーAA」を予定している。

組織運営では、現在88社の会員を100社まで増やすことを目指し、会員・役員理事の紹介で獲得に力を入れる。「親会と青年部の連携の良さも特徴」（青柳裕司専務理事）で、青年部のアイデアも活用しながら使いやすい会場づくりを進め、実績の引き上げを図っていく。

JU北見

オークションの活性化のための会員獲得やディーラーとの連携に力を入れる。15年ほど前から会員増強の取り組みを本格化させ、役員を中心とした企業訪問でJUの利点をPRしている。会員数は100社の大台を突破し、120社を目標に据えて活動を展開していく。

AAでは、新たに三菱自動車ディーラーと連携したタイトルを開催した。直近の傾向として、ディーラーからの出品も増加している。京塚啓司会長は「ディーラーの中古車担当者とこまめな接点創出を図り、会場の特徴を地道に訴求したことが成果につながっているのではないか」と説明する。

オリコのクレジットキャンペーンでは春季の目標達成率が全国で1位となった。役員や職員がそれぞれの目標を着実に達成したことが成果を押し上げた。

8月には青年部主催の「マグロ祭り」が開催され、800人ほどが参加した。今回が10回目となり、顧客や取引先にも恒例のイベントとして浸透している。

JU北海道青年部連絡会 村井 徹 代表幹事

「適正販売店」の改善へ取り組み

北海道代表幹事は2年目に入り、直近は全国の代表幹事が指導環境委員会のもとで「JU適正販売店」の改善に向けて取り組んでいます。同制度が作られて20年近くが経過し、時代に即した内容へのブラッシュアップを図ります。青年部会員は中古車販売を事業の主体とする企業も多く、適正販売店に認証されることが販売の促進につながるなど、メリットがより明確になることが重要と考えています。

自身が所属するJU旭川では2025年、市内中心にある商業施設で青年部員が出品できる販売イベントが実現し、部会員の加入につながりました。規模の拡大が情報交換や活動を後押しする好循環につながっていることから、道内の青年部会としても地域を超えた連携を模索していきます。

全国各地の主要オークションにお邪魔する機会も増えています。それぞれの商組で課題に対するアプローチを参考に、道内の販売や活動の活性化に役立てていきます。

検査委員長 髙﨑 直也 JU室蘭会長・理事長

技能コンで検査技術をレベルアップ

AAを安心して利用していただくためには、適正な検査が可能な体制の構築が重要となる。道内7会場でネットワークを結んでAAを開催するためには、検査品質の均一化も求められており、今年度は特にその取り組みを強化している。

今年は12月に愛知県で「検査員技能コンテスト」の全国大会が開催される。道内では7月25日にJU札幌（札幌市東区）のAA会場で「第2回AA検査員技能コンテスト」を開催した。道内7支部の認定検査員が参加し、熱戦を繰り広げた。

今回優勝した権平貴志選手と前回優勝の富田凌太選手が北海道代表として全国大会に出場する。全国大会では他の地域の選手の技術を見ることができるため、2人にとっても勉強の機会になると思う。大会を通じて検査技術のレベルアップにつなげてほしい。

今後もJU北海道全体の検査技術を高め、中古車流通市場の健全化につなげていきたいと考えている。

小売振興委員長 京塚 啓司 JU北見会長・理事長

JUならではの差別化で販売促進

タマ不足と円安による輸出需要の強化で相場は上昇傾向にあり、小売りでは収益の確保が難しくなっている。その中で「JU適正販売店」の認証や「CS（顧客満足）研修」を行い、JUブランドならではの差別化で販売促進につなげていく。また、在庫の確保が難しい中で「JUテントリ」の有効性を理解してもらえるよう提案に力を入れている。

7月からは「JU北海道認定保証」もスタートした。安心して車両を購入、使用してもらえる環境を整えた。直近で全道から100社ほどの利用申し込みが寄せられている。申請だけで利用できる手軽さも特徴となり、当面は300社まで拡大することを見込む。また、補償の対象を拡大することも検討している。より低年式の商品にまで広げることで、販売促進に役立ててもらう。

全道で実施していた「JU中古車フェア」については、今年をもって一段落とする。来年以降の施策は、どのような形式が適しているのかを考慮しながらゼロベースで検討していく。

流通委員長 髙橋 広美 JU函館会長・理事長

サテライト効果で「地産地消」注力

AAの業務システムをクラウド化し、アナログからデジタルに変わる節目となった。例えば、車内に出品票を置かなくても、出品番号のQRコードをスキャンすれば内容が表示される。これまで出品票を車内に入れていた作業なども不要となり、事務局の仕事の簡略化につながる。

新システムは8月の盆休み明けに導入したが、現在は順調に推移している。今後は「JUナビ」や「JUテントリ」にもシフトしやすい体制づくりを進める。将来的にはさまざまなAA会場に出品できるようになるかもしれない。

今後のAAへの出品については、各商組の年間スケジュールに合わせながら、道内7支部が結束して台数を増やしていきたい。

JU北海道としては昨年に比べ出品や成約の台数は多い。全道7会場の競りをネットワーク化したサテライトの効果が表れている。引き続き、各地の中古車を各地で流通させる「地産地消」に力を入れる。

金融委員長 近藤 昇 JU札幌会長・理事長

33連覇に向け着実な取り組みを

7月に行われたJU中販連の夏季クレジットキャンペーンでは、JU北海道として目標を28％上回り、32連覇を達成した。各商組の尽力に加え、特にJU函館が目標の2倍超となる金額を記録して取り組みを力強くけん引したことも大きかった。

現在は秋のキャンペーンがスタートしており、JU北海道の目標金額は、前年から4％ほど上昇しているものの、実績ベースでは達成に大きな期待ができる。33連覇に向けて着実に取り組んでもらい、目標からどれだけ上積みできるかにも注目している。クレジット以外にもオートリースなどの金融商品について理解を深めることも課題の一つだ。過去には講師を招いて勉強会を行ったこともあり、必要に応じて開催を検討していく。

11月にはJU中販連が全国金融委員長会議の開催を予定しており、JUクレジットについての勉強会を行う。道内各支部の金融委員長とともに参加して取り組みに対する意識の引き上げを図っていく。

指導環境委員長 佐藤 友泰 JU旭川会長・理事長

勉強会実施し法規への理解深める

指導環境委員会としては①指導体制の強化②環境対応の推進③トラブルの未然防止④地域連携を進めていく。中古車事業者の不正に耳目が集まったことから、業界に対する注目は高まっている。その中で、順守すべき古物営業法や道路運送車両法などの関連法規について勉強会を定期的に実施して理解を深め、コンプライアンス意識の底上げにつなげる。

温暖化や激甚災害の頻発は国内の大きな課題となっており、事業を通じた環境負荷低減も重要な取り組みの一つだ。廃棄物の適正処理のほかフロンガスの排出抑制、リサイクル部品の活用促進の呼びかけを継続し、企業として環境配慮の責務を全うできるよう後押しする。

そのほか、会員の事業において苦情や相談が寄せられた際には、内容を分析して改善策を提示して応対の改善に役立てる。また、道内の関係団体との連携を図りつつ、地域の実情に即した商環境づくりを進める。これらの施策で会員の安心した事業を支援し、JU北海道の社会的信用引き上げに貢献していく。

総務委員長 上嶋 康秀 JU帯広会長・理事長

JU入会のメリットを積極アピール

JU北海道では継続して会員数の拡大に取り組んでいる。全国で展開している新規入会キャンペーンに加え、北海道独自の施策を進めており、商組ごとに純増の目標数も決めている。現在は廃業などを理由に退会も出ているが、新規入会が上回り全体では純増となっている。

新規入会を促進するため、AA事業だけでなく登録や封印の業務など、JUに入会するメリットをアピールしていく。

組織の体制強化にも引き続き力を注ぐ。全道のJUで従事する職員の教育・研修などにも積極的に取り組んでいる。今年は7月に道内の全職員を集めて「全道事務局研修会」を開催した。特にAAはJU北海道として実施しているので、検査体制の平準化を図りたい。

サテライトでつながっている道内7商組の職員は、日常業務での関わりも深い。研修などの機会を通じて一体感を出し、北海道ブロックの組織をより強固なものにしたい。

自動車陸送会社
エムズメッセ株式会社
M's MESSE
安全認定
安全性優良事業所
全国 AA～貴社様までお車を運びます
本社
〒004-0873
札幌市清田区平岡3条3丁目30番7号
TEL.011-884-0862

中古車AAの未来を構築します!
MEIDEN
Quality connecting the next
明電システムソリューション株式会社
〒141-8565 東京都品川区大崎2-8-1　TEL：03-6420-8934

日専連ジェミスオートローン
本　社 〒080-0012 帯広市西2条南8丁目8番地 ☎0155-21-2000
札幌支店 〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目11番4号 日専連ジェミスビル3F ☎011-204-7775
釧路支店 〒085-0063 釧路市末広町1丁目2番18号 ☎0154-37-2000
北見支店 〒090-0042 北見市北2条西1丁目16番地の1 ☎0157-24-2000
旭川営業所 〒070-0030 旭川市宮下通13丁目1199番地 S-Kタイムビル2F ☎0166-27-4000
NISSENREN
URL http://www.nissenrenjemis.jp

夢だった、古民家カフェをオープンできるなんて。
オリコとだったら、地域を元気にできるかも!
オリコとだったら、できるかも!
「JUカード」も「JUクレジット」もオリコです
その夢の、一歩先へ Open the Future with You
Orico

JUテントリ 秋キャンペーン2026
全国の軽が集まるJUテントリで、理想の一台を見つけよう!
軽自動車なら、JUテントリ。
期間限定 軽自動車落札料 半額キャンペーン!
ナビ会員 通常落札料(税別) 15,000円 キャンペーン特別価格 7,500円
トレード会員 通常落札料(税別) 16,500円 キャンペーン特別価格 8,250円
台数制限なし! 期間中は何台でも特別料金で落札可能!
軽自動車が対象! 人気の軽自動車をお得に仕入れられるチャンス!
仕入れコストを削減! 落札料が半額になるから、仕入れコストの削減につながります!
全会員が対象! ナビ会員・トレード会員どちらの会員様もご利用いただけます。
軽を探すなら、まずはテントリ。
キャンペーン期間 2026年10月1日(木)～11月30日(月)
JUナビ&JUトレード ホームページはこちら!
JUナビ 検索